

千葉県市川市・江戸川河川敷緑地の植物

木村陽子

1 はじめに

市川市は千葉県の西端に位置し、江戸川をはさんで東京都と隣接しており、江戸川の南端部は東京湾へと注いでいる。江戸川河川敷には、市川市の定めた「江戸川河川敷緑地」が6か所ほど点在している。多くは、グラウンドや公園として利用されているが、上流部に当たる利根川から水流により植物の種子が運ばれて来たり、鳥や小動物により散布された植物、東京湾から潮の干満で上がってくる海水の影響がみられる汽水域特有の植物、また、東京湾へ入港する外国からの船舶や積み荷に由来する帰化植物などの生育が見られる。

筆者は、市川市の水と緑の計画課の行った「市川市植生管理計画策定対象樹林地等調査（平成19・20・21年度）」で、2008年にこの地域の植物調査を担当した。今回、その時の調査結果である「市川市水と緑の計画課所蔵資料」を元に当該地域の植物をまとめて報告することとした。

調査では、常に山崎秀雄氏に同行していただき、さまざまな助言をいただくことができた。また、調査結果を発表するにあたっては、市川市・水と緑の計画課の許可を得ることができた。合わせて御礼を申し上る。

2 調査の概要

調査は、2008年の5月から10月にかけて維管束植物のフロラ（植物相）を中心に行なった。主要な種については、標本を作成した。その標本は筆者が保管している。各調査地点では、年一回のみの調査であるので、調査の季節を変えデータを取るとさらに詳細なフロラとなるだろう。

調査地点・年月日は、上流から、次の通りである。

- A 江戸川河川敷緑地 市川南4丁目 2008年10月02日
- B 江戸川河川敷緑地 大洲・大和田 2008年10月16日
- C 江戸川河川敷緑地 稲荷木3丁目 2008年06月05日
- D 江戸川河川敷緑地 稲荷木2丁目 2008年06月26日
- E 江戸川河川敷緑地 河原番外地行徳橋南詰め西 2008年05月28日